

基本目標

7

【都市基盤】

くらし充実 快適がゆきとどくまち



施策1 魅力ある街並み形成と住環境整備



めざす姿

- 居住・就業・憩い・にぎわいなどの各機能をバランスよく配置した暮らしやすい住環境と魅力ある街並みの実現をめざします。
- ゆとりとやすらぎを感じられ、防災面での機能も果たす公園を中心とした緑の空間づくりの充実をめざします。

現状と課題

野々市市の人口は、緩やかに増加していますが、地区によっては減少しているところもあり、長期的には野々市市全体でも減っていくことが予想されています。コンパクトな市域の中で、計画的な基盤整備や土地利用を誘導することで、居住・就業・憩い・にぎわいなどの各機能をバランスよく配置していく必要があります。

住環境については、人口の増加に対応した土地地区画整理事業^{P154}の施行や民間による宅地開発などが進んでいる一方で、住み替えなどにより、空き家の数が増えていくことが予想されます。良好な住環境を保つために、土地開発を適正に規制・誘導するとともに、地域の特性を生かしたまちづくりや、空き家の適切な管理・活用に向けた取組が求められます。

また、まちの憩いの場である公園や生活に潤いを与える緑地は、魅力的な市街地、良好な住環境に欠かせないものであるほか、防災面での役割など、求められる機能が多様になっているため、それらのニーズに対応しながら、適切に管理していくことが必要です。



野々市中央公園と市街地

施策の取組方針

取組概要	主な事業
1. 魅力ある市街地と良好な住環境の創出 快適で魅力的な市街地と良好な住環境を確保するため、居住・就業・憩い・にぎわいなどの各機能がバランスよく配置され、地域の特色を生かした、統一感のある街並みが維持されるよう、計画的な土地利用を促進し、基盤整備を進めます。また、土地開発の適正な規制や誘導、地区計画 ^{P154} などの促進、建築物に係る審査や指導、空き家対策、バリアフリー環境の整備などを進め、安全で豊かさを実感できる質の高い居住環境の確保に努めます。	・計画的な土地利用や基盤整備の促進 ・立地適正化計画に基づく施設の適正配置と居住の集約 ・地区計画などによる良好な住環境の誘導 ・狭あい道路 ^{P151} 整備事業 ・空き家対策の推進 ・市営住宅の良好な居住環境維持と長寿命化 ^{P154} ・店舗などのバリアフリー化の促進
2. 憩いと安心に満ちた緑の空間づくり 世代ごとの公園の使い方の違いや防災面の機能など、公園に求められる多様なニーズに対応するとともに、市民による花や緑を育てる活動を支援しながら、憩いと安心に満ちた緑の空間づくりを進めます。	・公園のリニューアル・長寿命化や拡張整備 ・生け垣や花壇の設置促進

〈分野別計画〉 都市計画マスタープラン、立地適正化計画、公営住宅等長寿命化計画、空き家対策計画、緑の基本計画

成果指標

成果指標	現状値	令和8年度目標値 (5年後)	[参考]令和13年度目標値 (10年後)
魅力ある住環境が整備されていると感じている市民の割合	61.7%	68.0%	75.0%
地区計画や各種協定の導入地区(累計)	9地区	10地区	11地区
都市公園面積	33ha	34ha	35ha

めざす姿に向けて…

▶市民に期待すること

- ・生け垣や花壇の設置などを通じてまちに花や緑を増やす。
- ・協力し合って美化清掃を行い、まちをきれいな状態に保つ。

▶市民と行政が協働で取り組めること

- ・市民と行政が共に考えて、まちづくりや街並みづくりを進める。

▶関係人口(野々市ファン)拡大に向けた取組

- ・野々市市を巣立った後も「野々市市ってこんなまちだった」と思い出せるような美しく印象的な街並みをつくっていく。



施策 2 交通の円滑化と公共交通網の充実



めざす姿

- 市民生活や経済活動を支えられるよう、都市間や市内を円滑かつ安全に移動できる道路環境を実現します。
- 市内外の移動に際し、誰もが不便を感じないよう、地域公共交通の利便性の向上をめざします。

現状と課題

道路は市民生活や経済活動を支える重要な基盤です。都市間の移動を支える広域幹線道路、市内をスムーズに移動できる都市計画道路の整備などを進めていく必要があります。幹線道路の中には慢性的な渋滞が発生している箇所もあり、関係機関と連携して解消に向けた取組を進めていく必要があります。

また、冬季の円滑な交通を確保するためには、除雪体制や消融雪といった雪対策が重要です。消融雪に係る設備の中には老朽化が進んでいるものもあるため、計画的な整備と更新が必要です。

一方で、高齢者や障害のある人、妊産婦などの交通弱者への配慮などの観点から、道路や公共交通機関のバリアフリー化を推進することも重要です。野々市市では、コミュニティバス「のっティ」の運行などを行っていますが、今後も交通事業者や市民、近隣自治体などとも連携し、公共交通全体の利便性を高め、市民や市外から訪れる人が利用しやすい環境を整える必要があります。



道路除雪



コミュニティバスのっティ

施策の取組方針

取組概要	主な事業
1. 便利で快適な道路網の整備 広域交通の円滑化を図るため、重要な道路網を強化するとともに、市内の主要な幹線道路である国道や県道の渋滞解消に向け、関係機関と連携し渋滞対策を推進します。 また、交通弱者が快適に移動できるバリアフリー環境の整備を推進します。	・都市計画道路の整備 ・道路のバリアフリー化の推進
2. 雪対策の充実 冬期間の円滑な交通を確保するため、消融雪施設の延伸や継続的な除雪体制を確保するほか、市民や地域と協働した効率的な除雪の仕組みづくりを進め、雪に強いまちづくりを推進します。	・消融雪施設の延伸と修繕・更新 ・除雪体制の確保
3. 地域公共交通の利便性向上 地域公共交通の維持や活性化、利便性向上を図るため、交通事業者との連携を強化し、市民の移動ニーズに合わせた公共交通網の構築や見直しを行います。	・交通事業者が行う地域公共交通の運営に対する助成 ・コミュニティバスの安全で効率的な運行

〈分野別計画〉 都市計画マスタープラン、立地適正化計画、道路除雪実施計画、国土強靱化地域計画

成果指標

成果指標	現状値	令和8年度 目標値 (5年後)	[参考] 令和13年度 目標値 (10年後)
交通の円滑化と公共交通網の充実の施策への満足度	32.8%	36.0%	40.0%
都市計画道路整備延長(総延長)	47km	48km	49km
コミュニティバス利用者数	126,247人	180,000人	200,000人

めざす姿に向けて…

- ▶ **市民に期待すること**
 - ・地域ぐるみで生活道路などの除雪に取り組む。
- ▶ **市民と行政が協働で取り組めること**
 - ・市民や利用者の声を地域公共交通協議会で共有し、意見交換をしながらよりよい公共交通網の実現に向けて検討する。
- ▶ **関係人口(野々市ファン)拡大に向けた取組**
 - ・コミュニティバスをはじめとした地域公共交通や総合時刻表について、ホームページを通して周知するなど、市外から訪れる人の利便性を図る。



施策 3 安定した上下水道の運営



めざす姿

- 生活に欠かすことのできない大切な水資源を、安全かつ持続的に利用できるよう、上下水道の適正な管理と安定的な運営を実現します。

現状と課題

市民の生活に不可欠な上下水道を、安全で安定的に運営していくためには、水源の状態の把握や施設の点検・調査など、関係する資源や施設・設備の状況を定期的に確認する必要があります。そして、今後、管路などの老朽化対策に多額の費用が必要となることが見込まれていることから、計画的に修繕・更新を進める必要があります。

また、住宅開発が進み人口が増加している中で、清潔な住環境を構築する観点から、下水道への接続を促していくことも必要です。

引き続き、安定的な上下水道の運営を続けるためには、このような経営環境や更新計画を把握しながら、適切に料金を設定することにより、経営基盤の強化を図ることが重要です。



配水管の耐震化工事

施策の取組方針

取組概要	主な事業
1. 安全で安定した水の供給 アセットマネジメント ^{P151} の視点のもと、施設の定期的な点検を行い計画的な更新を行います。	・地下水源の状態の定期的な把握と適切な維持管理の実施 ・上水道管路の更新や耐震化
2. 衛生的で快適な下水道の整備 水洗化率を向上させ、清潔な生活環境づくりを進めるとともに、ストックマネジメント計画に基づき施設の長寿命化 ^{P154} を実施します。	・水洗化普及促進活動の実施 ・管路施設の点検・調査と計画的な改築
3. 水道事業と公共下水道事業経営基盤の強化 水道事業と公共下水道事業が、高い質を維持しながら安定的に運営できるよう、計画的に事業を進めます。	・経営戦略の定期的な見直し ・水道料金と下水道使用料の料金の適正化
4. 上下水道の理解の促進 上下水道についての理解の促進を図ります。	・広報紙やパンフレット、ホームページなどによる情報発信

〈分野別計画〉 水道事業ビジョン、ストックマネジメント計画、国土強靱化地域計画

成果指標

成果指標	現状値	令和8年度 目標値 (5年後)	[参考]令和13年度 目標値 (10年後)
上水道管路の耐震適合率	48.5%	53.0%	58.0%
上水道事業における経常収支比率 ^{P152}	115.8%	110%以上	110%以上
下水道事業における経常収支比率	89.9%	95%以上	100%以上

めざす姿に向けて…

▶市民に期待すること

- ・自宅での水道メーター自己点検による漏水確認や、宅内の下水道設備の清掃を定期的に行う。
- ・下水道施設に負担がかからないように、不要な油などの不適切なものを下水道に流さないように工夫する。

▶市民と行政が協働で取り組めること

- ・浄水場など、水道施設周辺の除草や清掃を協働により行う。

▶関係人口(野々市ファン)拡大に向けた取組

- ・普段から生活で使用している水が霊峰白山を源とした、安全でおいしい水であることを広くアピールする。